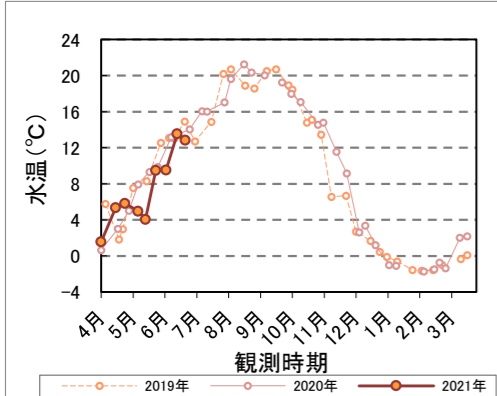


◎オホーツクタワーの動物プランクトン分析速報 (2021年6月)

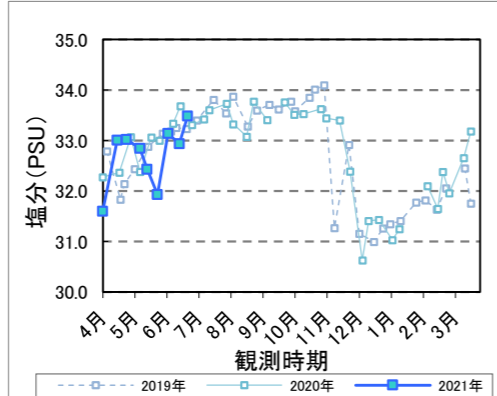
海洋環境データ

※観測：紋別市

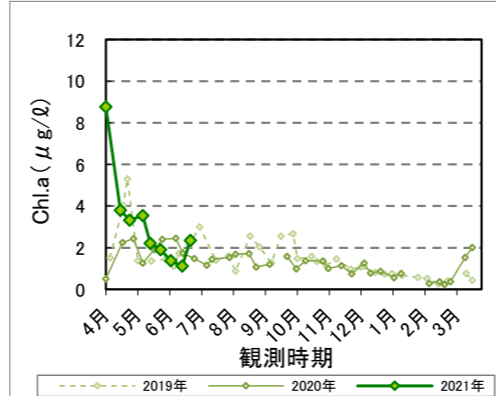
◎水温 (0~9mまでの平均値)



◎塩分 (0~9mまでの平均値)



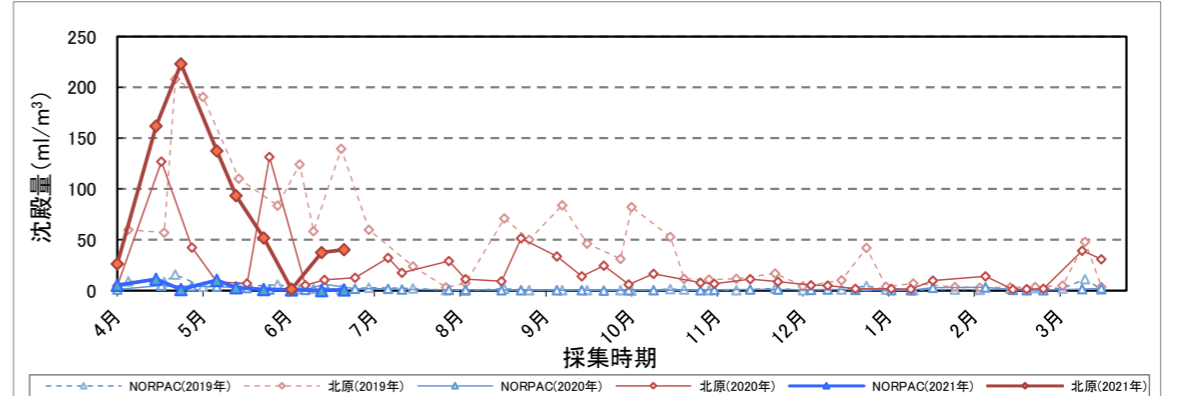
◎Chl. a (0~9mまでの平均値)



動物プランクトンデータ

※分析：(株)エコニクス

◎動物プランクトン・沈殿量



概要

Table with 3 columns for dates (6月3日, 6月14日, 6月22日) and rows for water temperature, salinity, Chl.a, sedimentation, and species lists. Includes details for NORPAC and Beihara nets.

出現量の多かった種類

Grid of images and descriptions for various plankton species including Pseudocalanus newmani, Acartia longiremis, Eurytemora herdmanni, and others, with their respective characteristics and distributions.

※海洋環境データ欄の水温、塩分、Chl.aのグラフは、水深0~9mまでの平均値をプロットしたものである。平均水温、平均塩分、平均Chl.a欄の数値は、表示の都合上、水深0~9mまでの平均値を小数第2位で四捨五入した値で示し、グラフ上の表示と異なる場合がある。

①千原・村野 (1997) 日本産海洋プランクトン検索図説[東海大学出版会] ②山路 (1966) 日本海洋プランクトン図鑑[保育社] ③岩国市立ミクロ生物館 監修 (2011) 日本の海産プランクトン図鑑[共立出版]